

タブレットP C活用授業記録

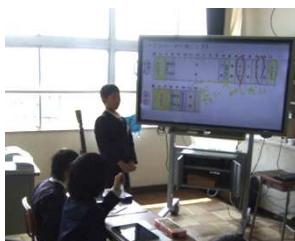
竹原市立中通小学校

□ 本時の概要

授業日	平成 25 年 4 月 11 日 (木)	学年	第 6 学年	教科等	家庭科
单元名	生活時間を見直そう				
本時の目標	一日の過ごし方について、生活を見直し、改善点を話し合うことができる。				
活用アプリ等	エクスチェンジボード タッチアナライザー				

□本時の展開

児童の活動	主な発問・指示 (◇) 及び児童の反応 (・)	指導上の留意点 (○)
1 Aさんの一日の生活を見て、気付いたことをノートに書く。	◇Aさんの一日の生活です。気が付いたことをノートに書きましょう。タブレットP Cにも自分の考えの根拠になる部分をマーキングしましょう。 ◇マーキングをした資料を、電子黒板に送信しましょう。	○資料「Aさんの一日の過ごし方」を、エクスチェンジボードの機能を使って児童のタブレットP Cに送信する。 ○マーキングした資料は、電子黒板に送信させる。
2 自分の考えを、電子黒板を使って発表する。	◇どんなことに気が付きましたか？ ・睡眠時間が短い。 ・朝起きるのが遅い。 ・テレビやゲームの時間が長い。	○発表の際は、自分の書き込んだ資料をクリックし、資料を提示しながら説明をさせる。
3 生活についてのアンケートに答える。	◇これから先生が出す質問に○△×で答えましょう。 ①朝は自分で起きているか？ ②朝ごはんを食べているか？	○タッチアナライザーの機能を使って、アンケートに答えさせる。 結果として表示されたグラフの数値を黒板に即座に板書する。
4 自分たちの生活の仕方の課題について考える。	③テレビやゲームの時間を決めているか？ など ◇アンケート結果からどんなことが言えますか？ ・Aさんと同じようにテレビの時間が長い。 ・朝ごはんを食べていない人も中にはいる。	○アンケート結果から生活の改善点について話し合わせる。



□ 本時の授業について (授業者のコメント)

本校ではこれまで電子黒板に書き込みながら自分の考えを説明させるようにしてきたが、その際のデメリットとして、①書き込むのに時間がかかること②発表者がつい画面を向きながら話してしまうことの2点が挙げられていた。その点このエクスチェンジボードの機能を使えば、自分の書きこんだものを即座に提示できるため、これらの課題を克服できる。タッチアナライザーも使い方次第でとても有効なシステムになると考えられる。